

知事コメント

令和3年12月21日(火)

本日11名の新規陽性者を確認致しました。
県内で2桁の新規陽性者数が確認されるのは、11月5日(金)以来となります。

11名の新規陽性者数の内、現時点わかっているもので、3名がキャンプハンセンに関連した陽性者、5名が北部保健所管内町村の陽性者であることが判明しております。

キャンプハンセンに関連した陽性者の方々は、県が封じ込め対策として行った無料PCR検査等の呼びかけに応じて頂き判明したものとなっております。基地従業員の皆様やその他関係者の皆様、積極的な検査受検ありがとうございます。

また、現在療養中の方にキャンプシュワブの関係者がいることがわかりました。変異株の解析を行っているところですが、県では中部と南部に接触者PCR検査センターを設置し無料検査を実施しています。基地関係者で不安な方は積極的に検査を受けて頂きますようお願い致します。

しかしながら、本日もキャンプハンセンで21名の感染が確認されるなど、基地内での感染が大規模に及び、オミクロン株の感染事例も確認されていることから本日、日米両政府あて申し入れを致しました。申し入れの内容は次の通りです。

①感染が収束するまで、米本国等から沖縄県への軍人、軍属の異動を停止するとともに、停止までの間水際対策を徹底すること

②キャンプハンセンに勤務する全ての軍人・軍属に対してPCR検査を実施すること

③在沖米軍基地の健康保護態勢レベルを引き上げるとともに、キャンプハンセンに勤務する全ての軍人、軍属の基地の外への外出を禁止すること。公務のため外出が必要な場合は、事前のPCR検査で陰性が確認されていることを条件とすること

④キャンプハンセン以外の軍人、軍属についても基地の外でマスク着用を徹底する等行動指針を遵守すること。また、感染防止の観点から基地内にあってもマスク着用を推奨すること

⑤基地内において変異株スクリーニングができる体制を早急に構築すること

県内の感染状況は、那覇市を含む南部や離島においては落ち着いた状態が継続しております。一方で、中部や北部の一部の市町村において、増加傾向が見られています。

特に北部保健所管内町村については、直近1週間で継続して新規陽性者が確認されており、本日を含めて人口10万人あたり25人を超えた陽性者が確認されております。その為、本日「沖縄県新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」に基づき、同地域に「コロナ感染拡大注意報」を発出致します。

注意報対象地域においては、

- 混雑している場所への外出は控えて下さい
- 夜間の会食は控え、4人以下2時間以内とするようにお願いします
- 体調不良時は出勤・登校・登園等は控えて下さい
- 飲食店では、同一グループ・同一テーブル原則4人以内でお願いします

そして、管内町村におかれましては、住民の方々への感染防止対策の呼びかけをし、お取り組み下さいますようお願い致します。

県では、注意報対象地域の取り組みとして、本部町と連携し、PCR検査を行うことを検討しています。

年末年始は移動や会食が増え、世代間の交流も多くなります。昨年度は、感染力の強い変異株への置き換わり前でしたが、この時期の活発な移動や会食の増加等による流行がおきました。急速な増加や拡大を防ぐためにはお一人おひとりの感染対策の意識が重要です。引き続きマスクの着用や手指衛生などの基本的な感染対策の徹底をお願い致します。

忘年会やクリスマスなどのイベントで、大人数、長時間、連日の会食は避けて頂き、発熱や咳などの症状がある方は参加をお控え下さいますようお願い致します。

併せて、年始のご挨拶や初詣、成人式などのイベントは、身近な人以外も大勢が会する場となります。県外から帰省される方も多くいらっしゃると思いますが、ワクチン接種を積極的にご検討頂きますようお願いいたします。イベント参加の際には、ワクチン接種者も含めいつも以上に体調管理に気を付け、混雑を避けるなどの3密回避のお取組みを、招く側、招かれる側ともにご留意頂きますようお願い致します。

今年ももう残り少なくなってまいりました。日に日に寒さが増してきておりますが、ご自身の体調管理にお気をつけてお過ごし下さいますようお願い致します。